

断熱仕様が特定できない場合の断熱性能の評価

断熱材種類まで判別できる場合は表①、断熱材の分類しか判別できない場合は表②を適用し、断熱材の厚さが特定できる場合は、各表(い)欄の熱伝導率 λ と特定できた厚さの数値を、断熱材の厚さが特定できない場合は、各表(い)欄の熱伝導率 λ と各表(ろ)欄の厚さの数値を、それぞれ計算に用いるものとする。

表① 断熱材種類まで判別できる場合

断熱材の分類	断熱材種類	(い)	(ろ)
		熱伝導率 λ (W/(m·K))	厚さd
発泡プラスチック系	A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板	0.043	10 [≒] _γ
	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板	0.040	20 [≒] _γ
	A種フェノールフォーム保温板	0.026	15 [≒] _γ
	A種高発泡ポリエチレンフォーム保温板	0.042	25 [≒] _γ
	A種硬質ウレタンフォーム保温板(ボード品)	0.024	7 [≒] _γ
	吹付け硬質ウレタンフォーム(現場発泡品)	0.026	10 [≒] _γ
繊維系	グラスウール	0.050	50 [≒] _γ
	ロックウール	0.038	50 [≒] _γ
吹込み用繊維系	吹込み用グラスウール	0.052	100 [≒] _γ
	吹込み用ロックウール	0.047	100 [≒] _γ
	吹込み用セルローズファイバー	0.040	100 [≒] _γ

表② 断熱材の分類しか判別できない場合

断熱材の分類	(い)	(ろ)
	熱伝導率 λ (W/(m·K))	厚さd
発泡プラスチック系	0.043	10 [≒] _γ
繊維系	0.050	50 [≒] _γ
吹込み用繊維系	0.052	100 [≒] _γ